



Arcserve による クライアント PC のデータ保護

Arcserve Japan

2024 年 9 月

Rev 2.1

クライアントPC保護の重要性と課題



最新データはクライアントPC上に存在します。
生産性の決め手になるのもクライアントPC上での業務です。

ウイルス/ランサムウェアに感染しちゃった！

うっかり不審なメールを開封！
大事なデータが汚染…なんとかしなくちゃ。



立ち上がらない！ PCが故障！

業務の大切なデータが入っているのに…
すぐ直さないと業務が止まってしまう！！



テレワーク中のバックアップはどうする？

テレワーク/在宅勤務が多くなった
バックアップはどうしよう…



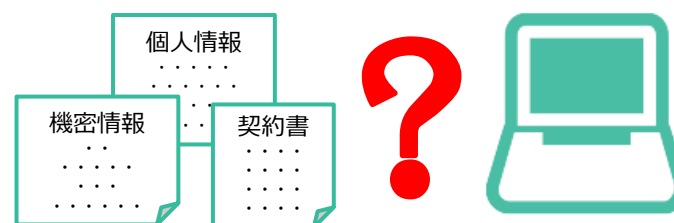
あっ！間違って消しちゃった！

ごみ箱の中身も完全に削除。
どうしよう、重要なファイルなのに…



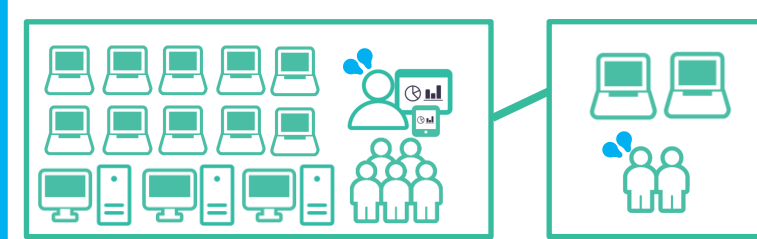
PCを紛失！ 何のデータが入っていた…？

モバイルPCを紛失！暗号化はしているけど、
どんなデータが入っていたかは確認しなくては…



台数多い… 管理者いない…

管理する台数が多くて大変…
IT管理者がいない拠点がある…



クライアントPCのバックアップ要件



企業のクライアントPCバックアップは、
運用台数が多い事や組織的取組として環境の構築をする必要があるため、
パソコン単体用のバックアップツールとは異なる機能要件が求められます。

ユーザ 利便性

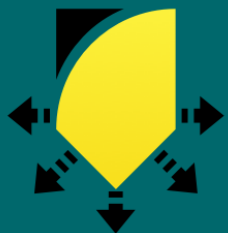
- ・クライアントPCの業務生産性を損なわない
- ・バックアップ先を効率的に利用可能

簡単導入

- ・ユーザーでも簡単に導入できる
- ・リモート環境でもインストールが可能

効率的 な管理

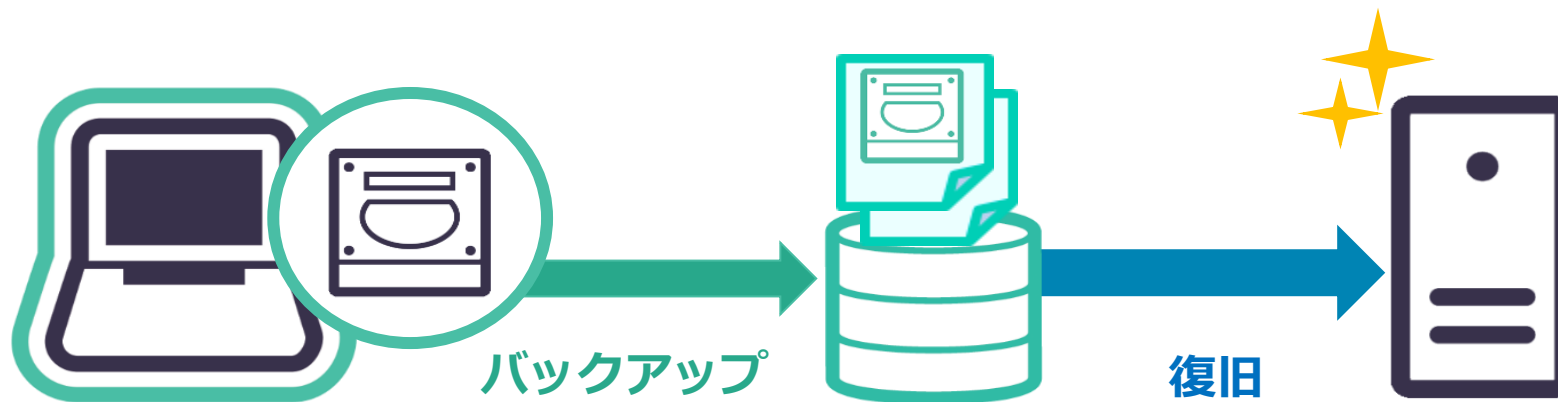
- ・管理者の運用負荷が少ない
- ・バックアップポリシーの徹底
- ・様々な環境で運用できる



Arcserve UDP Workstation Edition

クライアント PC のイメージバックアップ

イメージバックアップとはファイル単位ではなく、ハードディスク全体を丸ごとバックアップし、ファイルに保存するデータ保護手段。OSを含め一気にリカバリできるので**システム全体を簡単に復旧**できます。





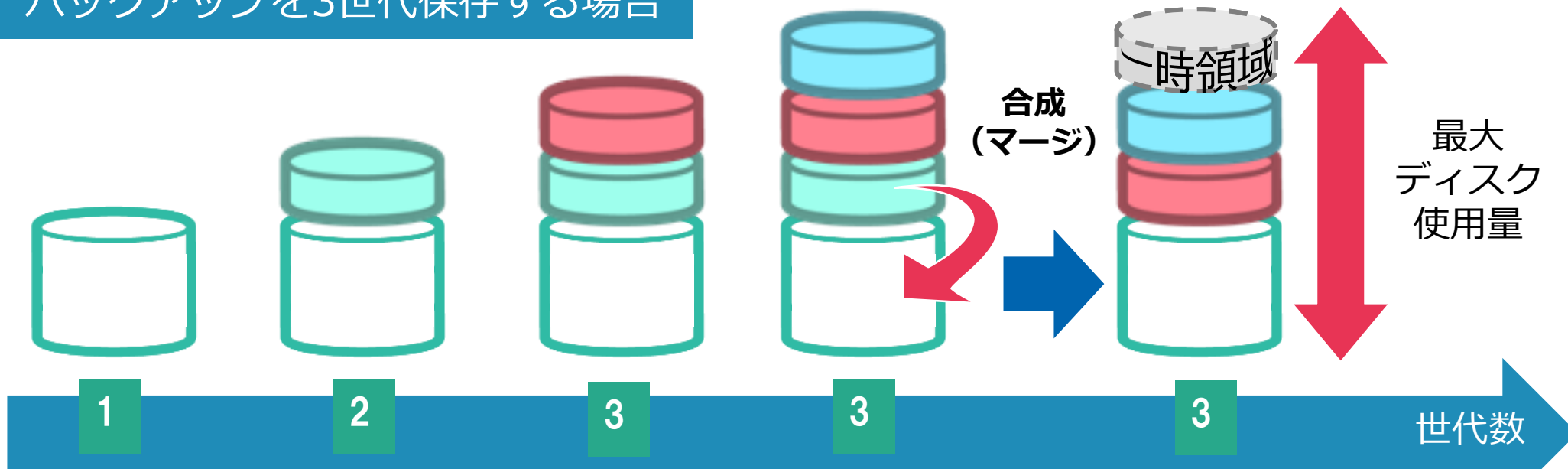
継続的な増分バックアップ



フル バックアップは初回のみでOK！（バックアップ データを自動メンテナンス）

バックアップの世代数（復旧ポイント数）が設定された数(※)を超えた場合、最も古い増分データとフル バックアップを合成（マージ）させ、フル バックアップの世代を自動更新。毎回増分バックアップなので**バックアップの処理時間が短く、PC利用者への影響を小さく**できます。

バックアップを3世代保存する場合



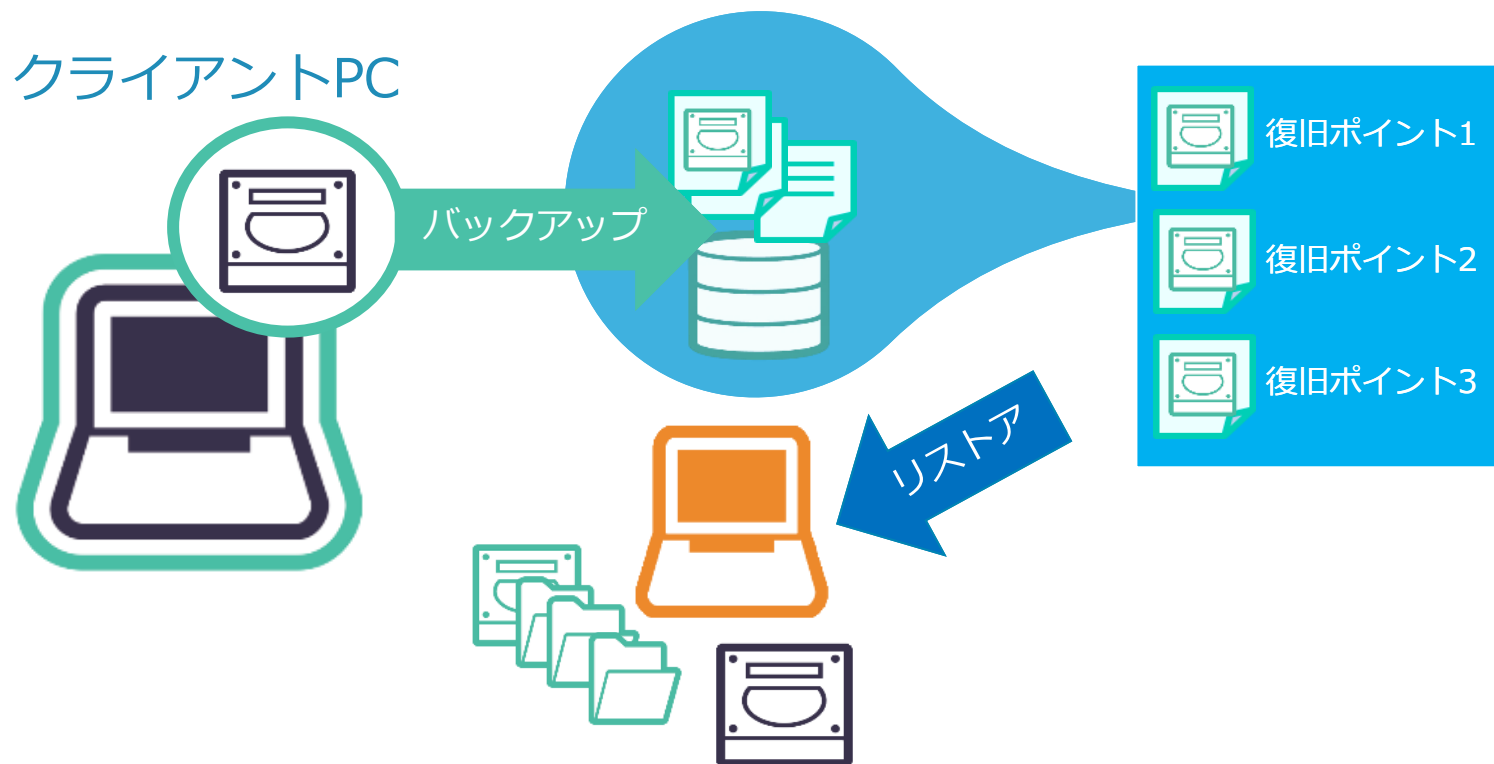
※初期設定では7個を保持(最大1440個まで設定可)



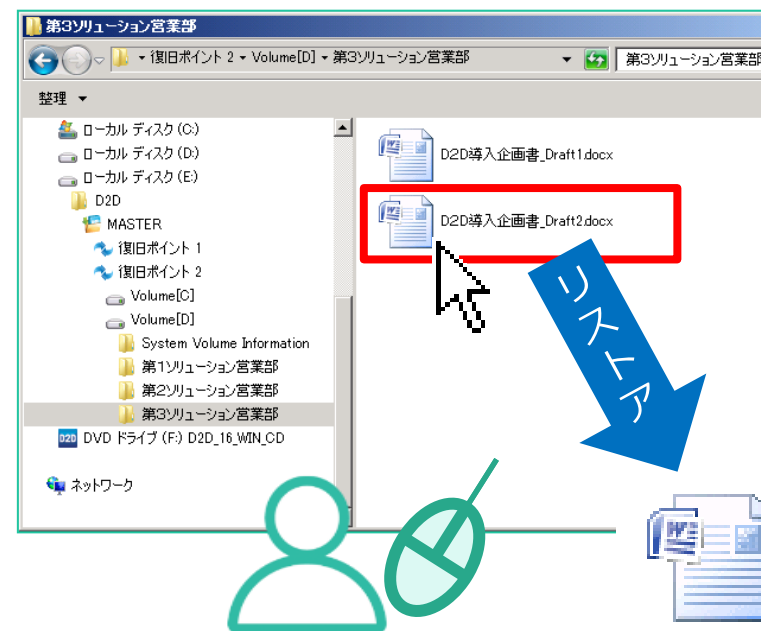
簡単操作でファイル単位のリストアが可能



Arcserve UDP ではシステム全体もファイル個別にもリストアが可能です。
使い慣れたエクスプローラからドラッグ&ドロップで
簡単にファイルをリストアすることもできます。



ドラッグ&ドロップでファイル単位のリストア



※エクスプローラからのリストアには管理者権限が必要です



UDPコンソールで統合管理



UDP コンソール[®]の利用で様々な環境のバックアップや台数の多いクライアントPC環境も**一元的に管理**。
リモートから**プッシュインストール**や**バックアップ設定（プラン）**が可能、**導入作業の負担が軽減**できます。

仮想マシン
(エージェントレス)

物理サーバ (Windows)

物理サーバ (Linux)

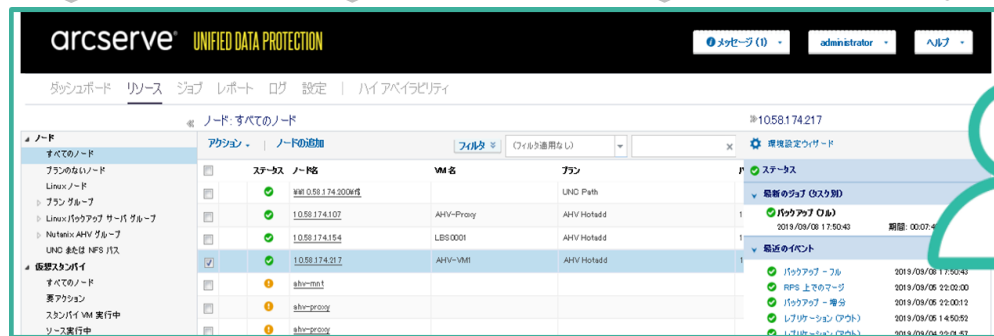
クライアントマシン



UDP
コンソール

ADドメイン内のマシンを自動検出※

- UDP Agent のリモート インストール
 - バックアップ設定(プラン)の配布
- ※ IP/マシン名での手動追加も可能



ブラウザ (Edge / Chrome / Firefox) で
どこからでもアクセスできる



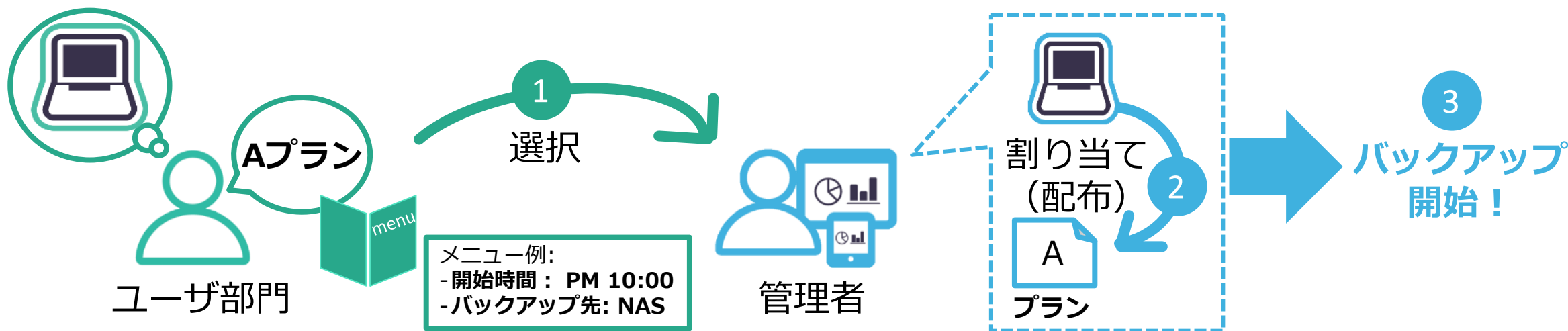
リモートインストール/ プラン配布



プランを使った簡単バックアップ設定



予めバックアップ「**プラン**」を設定し、対象クライアントに割り当てる設定方式。
バックアップの**メニュー化**と**設定の簡略化**が出来ます。



ユーザ部門:

管理者が予め設定したバックアッププランの中から、対象マシンの重要度/業務運用などに合わせプランを**選択**

統合基盤管理者:

対象クライアントをプランに**割り当てる**だけでバックアップが開始

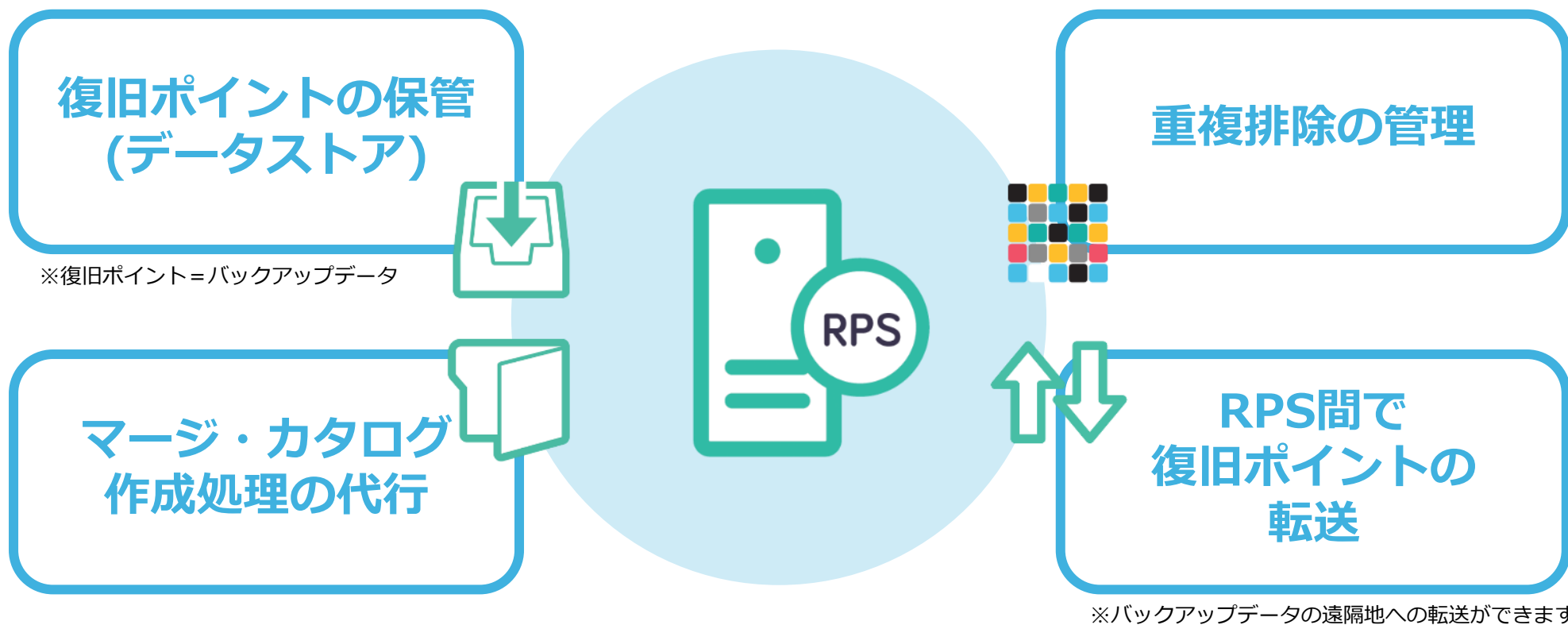
複数のクライアントPC を**まとめて簡単**に設定可能!!



復旧ポイントサーバ (Recovery Point Server : RPS)



RPS の導入でバックアップを更に効率化！ **中規模・大規模環境**にも対応可能な拡張性。





復旧ポイントサーバの重複排除



重複したバックアップデータは**重複排除**。

同一マシン内のバックアップデータだけでなく、**異なるマシン間**でも重複排除。

台数が多い環境もバックアップ先のディスクを効率的に利用。





Arcserve UDPコンポーネントのまとめ



Arcserve Unified Data Protection

エージェント

物理・仮想マシンの
バックアップを実行



コンソール (統合管理サーバ)

スケジュール管理
および操作画面を提供

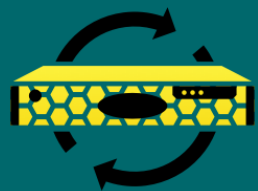


復旧ポイント サーバ

バックアップデータの
格納庫を提供



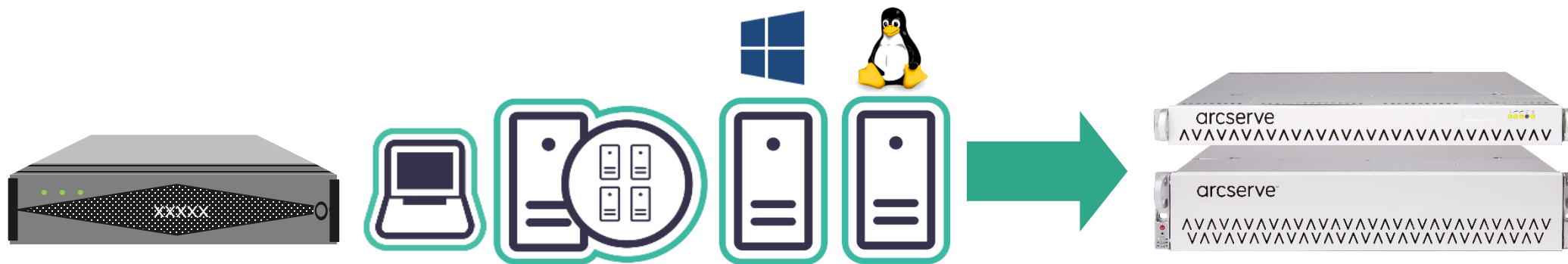
環境に合わせて柔軟に配置することができます



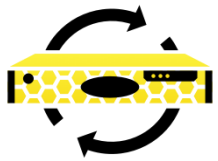
Arcserve UDP Appliance

バックアップ専用アプライアンスサーバ

Arcserve UDP をプリインストールしたバックアップ専用アプライアンス
内臓ディスクにバックアップできる限りライセンスが使い放題
中規模・大規模環境のバックアップをより簡単にシンプルに実現



イメージバックアップ



アプライアンスで運用コストを削減

サイジング不要で設置も簡単、
大容量ストレージへのバックアップで容量不足の心配無し！



バックアップ
ソフトウェア



バックアップ用
ハードウェア



納品から5年間の
メンテナンス付

Arcserve UDP **プリインストール
ライセンスフリー**

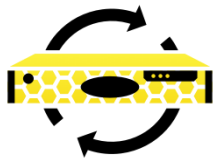
ハードウェア**サイジングが不要**
8~80 TB のストレージを選ぶだけ

2年目以降の**更新費用不要**

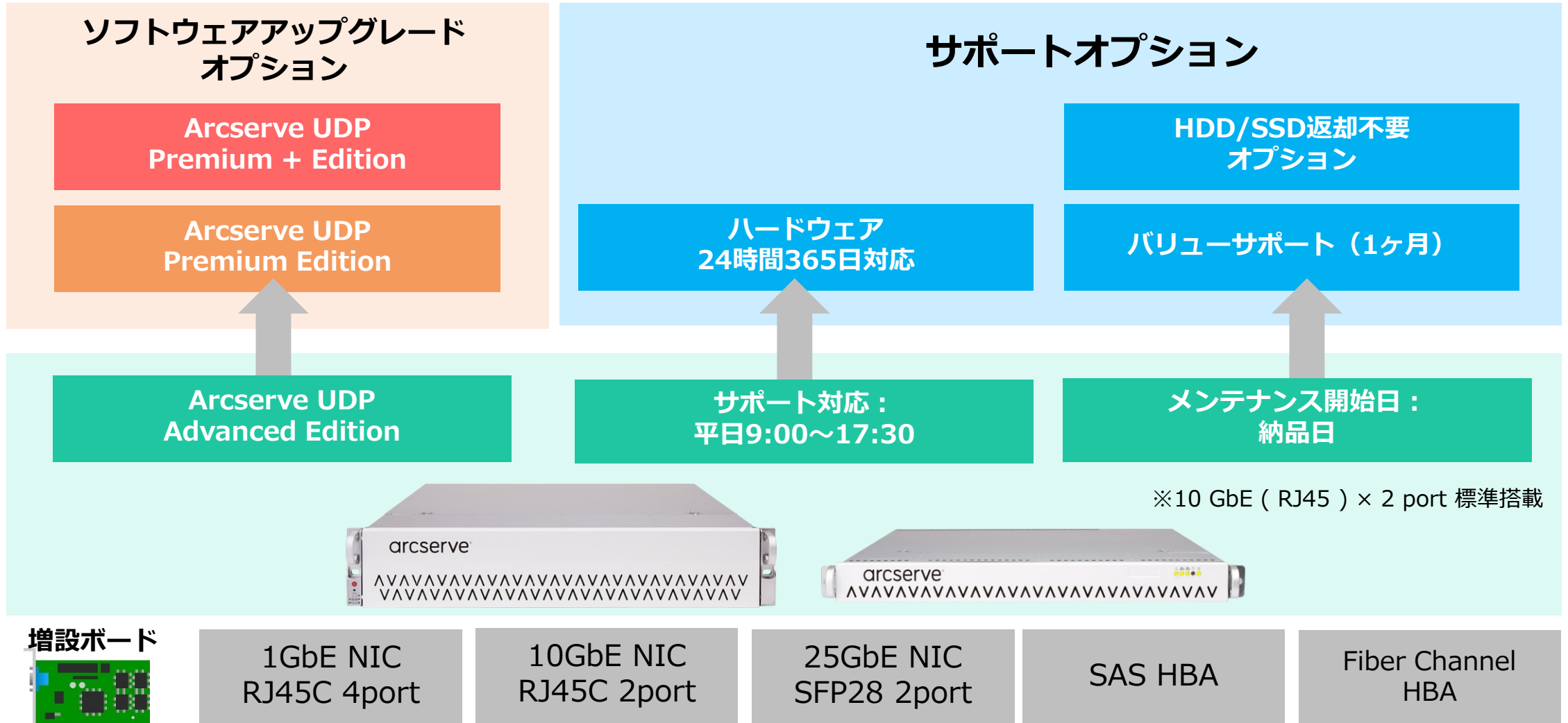
サポート対応

- ・ Arcserve テクニカルサポート（ソフトウェア版と同じ窓口）にて対応。
- ・ ハードウェア故障は**オンサイト**（現地訪問）対応が可能
（部品交換が必要な場合、現地訪問は問題特定から4時間駆けつけ目標（※））
- ・ Arcserve UDPの**無償アップグレード**が可能
（アップグレード作業はお客様にて実施いただきます）

※ サービス拠点(札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡)より30km圏内での目標となります。



Arcserve UDP Appliance 9000 v2 シリーズ製品体系



PC のバックアップに必要な Arcserve UDP ライセンス



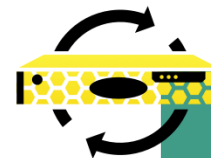
Workstation Edition と Arcserve UDP Appliance の 2通りがあります。



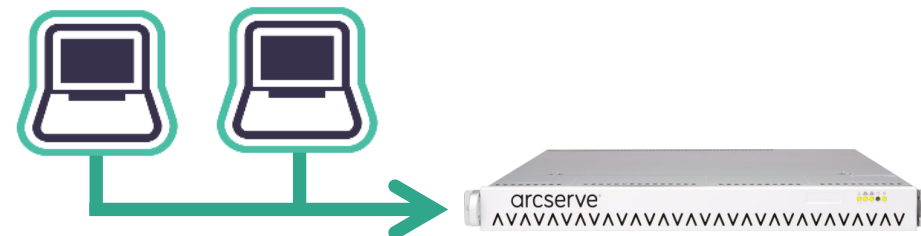
Arcserve UDP Workstation Edition



バックアップ対象の台数分
ライセンスが必要です。



Arcserve UDP Appliance



台数は問わず、容量に収まるだけ
バックアップできます。

※ サーバ のデータも容量に収まるだけバックアップ可能

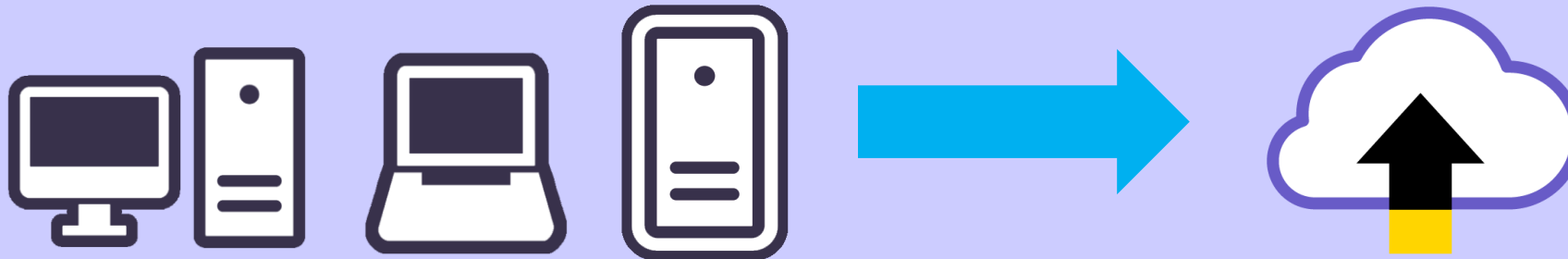
※ 各製品の価格は、[最新の価格表](#)をご確認ください。



Arcserve Cloud Direct

Arcserve の クラウドサービスを活用したデータ保護

お客様のシステムやデータをArcserveが管理するクラウドへ直接バックアップ
バックアップサーバの管理が難しい、IT管理者不在の拠点サーバやPCのデータ
保護をシンプルに実現

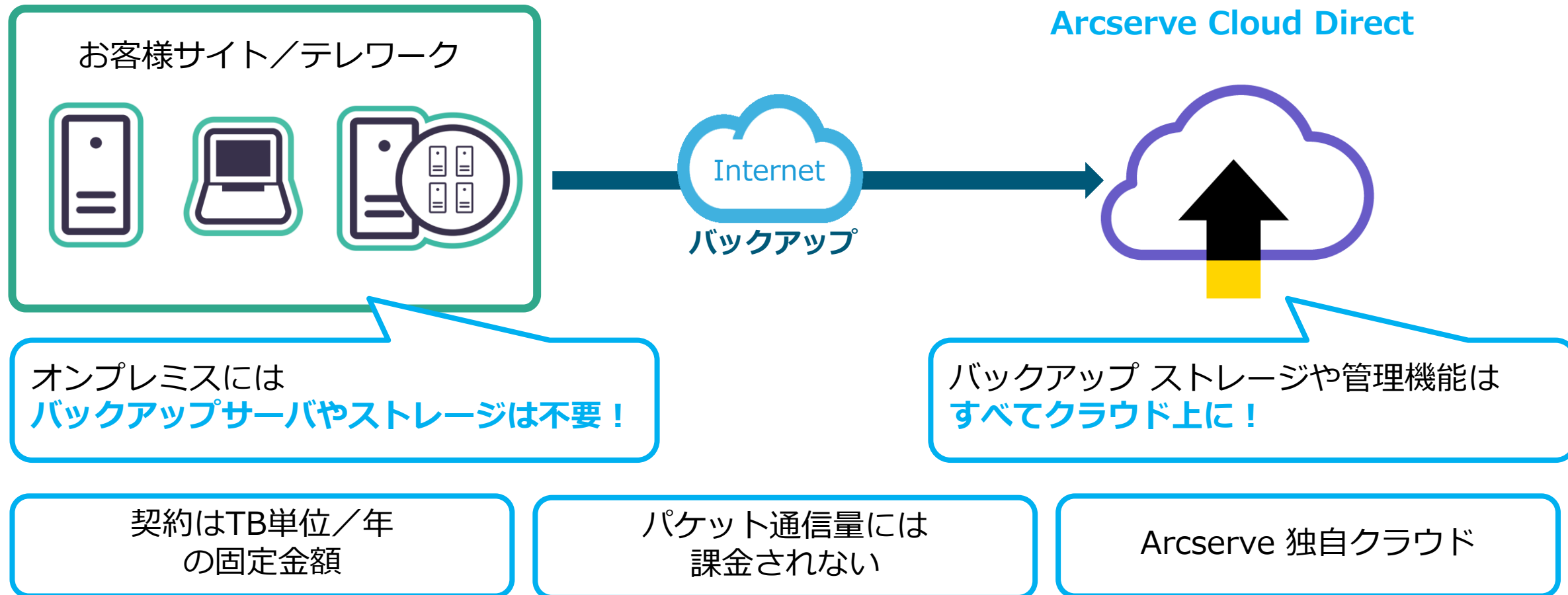




Arcserve Cloud Direct の概要



管理者不在のサーバや在宅勤務PCをArcserveのクラウドへ直接バックアップ



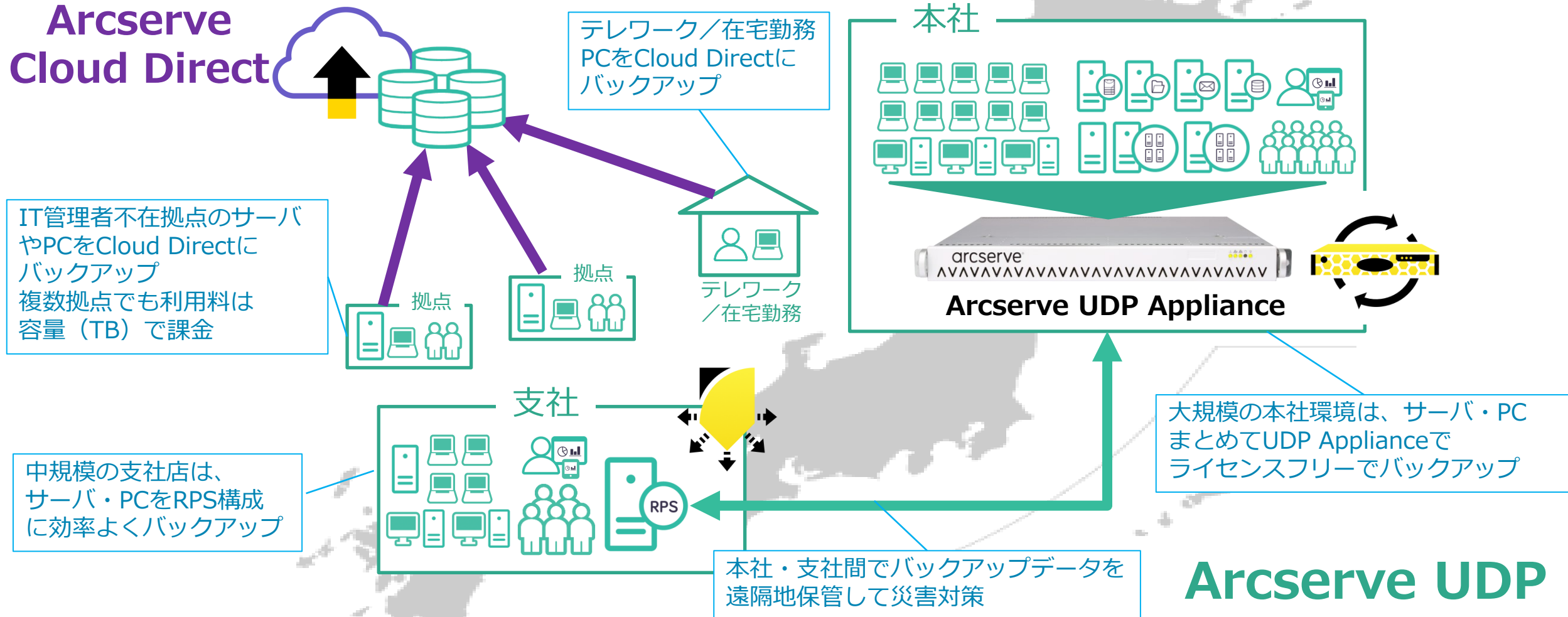
Arcserve UDP Workstation Edition

Arcserve Cloud Direct 比較



	Arcserve UDP Workstation Edition (Arcserve UDP Appliance)	Arcserve Cloud Direct
管理コンソール	オンプレミス環境の コンソール、または、UDP Agent	クラウド上の Cloud Direct 管理画面
バックアップ対象	クライアントPC全体	指定されたフォルダ／ファイル
リストア方法	ベア メタル リストア ファイル／フォルダ単位	ファイル／フォルダ単位
バックアップ方式	継続的な増分バックアップ	継続的な増分バックアップ
バックアップ先	オンプレミス環境のハードディスク または、UDP Appliance の内蔵ディスク	クラウド ※クラウドとのネットワーク切断が発生しても、 回復するまで待機するレジューム機能があります
暗号化	○	○
圧縮	○	○
重複排除	○ ※RPS構成が必須です	×
ライセンス形態	バックアップ対象PCの台数分 ※Arcserve UDP Appliance は台数無制限	バックアップデータ量（TB単位）

Arcserve によるクライアントPCのデータ保護例





ご参考情報

Arcserve UDP 9.x - Edition の種類 と 含まれる機能



Edition	サーバ用			PC用
	Advanced/ for Nutanix	Premium	Premium Plus	Workstation
イメージ バックアップ / 共有フォルダ (CIFS/NFS ※1) のバックアップ	●	●	●	● ※6
バックアップ データの重複排除や転送 (レプリケート)	●	●	●	●
統合管理	●	●	●	●
仮想マシンのエージェントレス バックアップ (vSphere/Hyper-V/AHV ※1)	●	●	●	
仮想スタンバイ/インスタントVM	●	●	●	※2
VSS ライタを利用したアプリケーションのオンライン バックアップ ※3	●	●	●	※4
アシュアードリカバリ/SLAレポート	●	●	●	
バックアップ データのテープ保管 注:Arcserve Backupのインストールが必要です	●	●	●	●
Oracle RMAN との連携バックアップ		●	●	
ハードウェアスナップショット対応 (NetApp / HPE 3PAR / Nimble など)		●	●	
役割ベースの管理		●	●	
Arcserve Backup すべての機能 / 全エージェント/全オプションのライセンスが同梱 ※5		●	●	
Arcserve Replication ファイル サーバのデータ複製用のライセンスが同梱		●	●	
Arcserve Replication/High Availability のすべての機能のライセンスが同梱 ※5			●	

※1 : AHV 上の仮想マシンまたは Nutanix Files のバックアップを行うには Advanced Edition for Nutanix を購入してください。

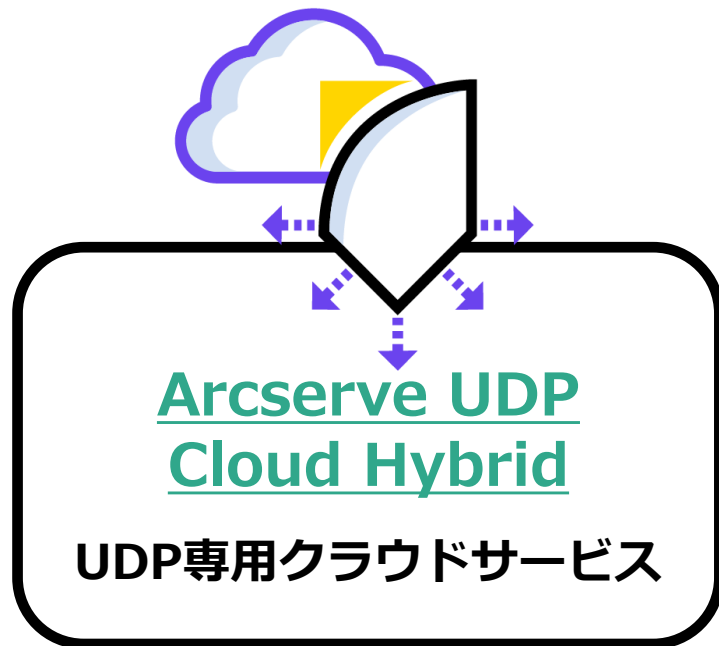
※2 : Workstation Edition では vSphere/Hyper-V への仮想スタンバイのみ行えます。

※3 : Microsoft 365 (Exchange Online、SharePoint Online、OneDrive および Teams) の保護には、別途専用のサブスクリプションを提供しています。

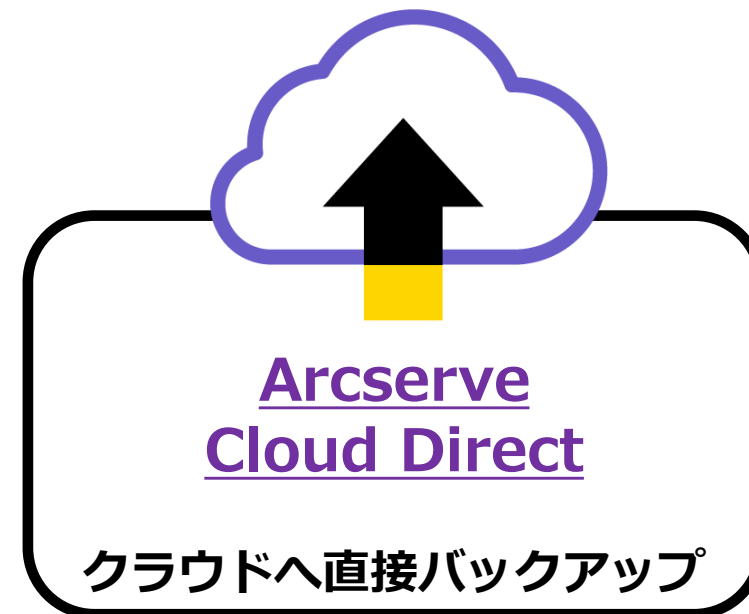
※4 : Microsoft SQL Server Express Editionのみオンライン バックアップをサポートします。

※5 : 「すべての機能」とは、日本語の動作要件に記載されている製品（機能）が対象です。 ※6 : 共有フォルダのバックアップにはサーバ用ソケット ライセンスが必要です。

Arcserve の2つのクラウドサービス



オンプレミスの Arcserve UDP のデータを Arcserve が運用するクラウドに複製



直接クラウドにバックアップ
バックアップサーバの管理が難しい
拠点サーバや PC のバックアップに



Arcserve Business Continuity Cloudのデータセンター



Tier IV 相当（一部 Tier III 相当）の高いセキュリティ・対災害性を持つデータセンターで運用されています。



製品情報とお問合せ窓口



Arcserve ポータルサイト
arcserve.com/jp

カタログセンター
(カタログ、ライセンスガイド、技術資料、お客様事例)
価格表、イベント・セミナー情報

Arcserve カタログセンター

検索



ご購入前のお問い合わせ窓口
Arcserve ジャパン ダイレクト

例：「この構成で必要なライセンスは？」



フリーダイヤル：0120-410-116
(平日 9:00~17:30 ※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除く)



Webフォーム：<http://www.arcserve.com/jp/japandirect>



メール：JapanDirect@arcserve.com

arcserve®



ご契約社様向け技術的問合せ窓口
Arcserve テクニカルサポート

Arcserve製品の操作方法、障害対応に関するお問い合わせ
お問い合わせには、メンテナンス期間が有効なオーダーIDが必要です。



フリーダイヤル：0120-702-660
(平日 9:00~17:30 ※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除く)



サポートポータル：<https://support.arcserve.com/s/?language=ja>



ライセンスに関する専用お問い合わせ窓口
Arcserve ライセンスデスク

ライセンスキー登録方法、
アクティベーションに関する問い合わせ



フリーダイヤル：0120-630-178
(平日 9:00~17:30 ※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除く)



無償アップグレードお申込みWebフォーム：
<https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/free-upgrade/>



メール：JapanDirect@arcserve.com